

新規事業採択時評価結果（平成16年度 新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名	一般国道353号 石黒バイパス <small>かりわくんだかやなぎまちいしくろ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県刈羽郡高柳町石黒 至：新潟県刈羽郡高柳町石黒	延長	1.8 km		

事業概要

一般国道353号は、群馬県桐生市を起点とし、新潟県柏崎市を終点とする延長約157kmの幹線道路であり、一般国道17号、一般国道8号、一般国道253号や一般国道403号と交差し、広域道路網相互を連絡、補完する機能を担っている。また、将来的には地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」の整備により、柏崎市と十日町市、六日町、関東圏のアクセス路として広域交通を担う。

当該事業区間は山地部を通過し、最小車道幅員3.0m、最急勾配13%と常時でも円滑な交通を確保できない状況であり、かつ、特別豪雪地域の指定を受けている地域に存しており、冬期交通が著しく困難となっている。

そのため、バイパスとしてトンネル及び橋梁を整備し、円滑な交通確保をする。

事業の目的、必要性

平成15年4月1日付けで決定された「新潟県原子力発電施設等立地地域の振興に関する計画」に当該事業区間が位置付けられており、地域の防災上また緊急輸送道路として整備が必要である。

当該事業区間は、特別豪雪地帯の指定（10年確率で最大積雪深350cm）地域に存しているが、幅員狭小、線形不良であるため、常時も円滑な交通が確保されておらず、特に冬期交通に著しく支障をきたしている。また、除雪作業時には通行止めを伴うなど、第2次緊急輸送道路としても信頼性が非常に低くなっている。そのため、安全な冬期交通の確保、第2次緊急輸送道路の強化を図るため、早急な整備が必要である。

全体事業費	54億円		計画交通量	1200台/日
費用対効果 分析結果	B/C	2.8	総費用	45億円
			事業費	43億円
			維持管理費	2億円
			総便益	127億円
			走行時間短縮便益	124億円
			走行費用減少便益	2億円
			交通事故減少便益	1億円
			基準年	平成15年

事業の効果等

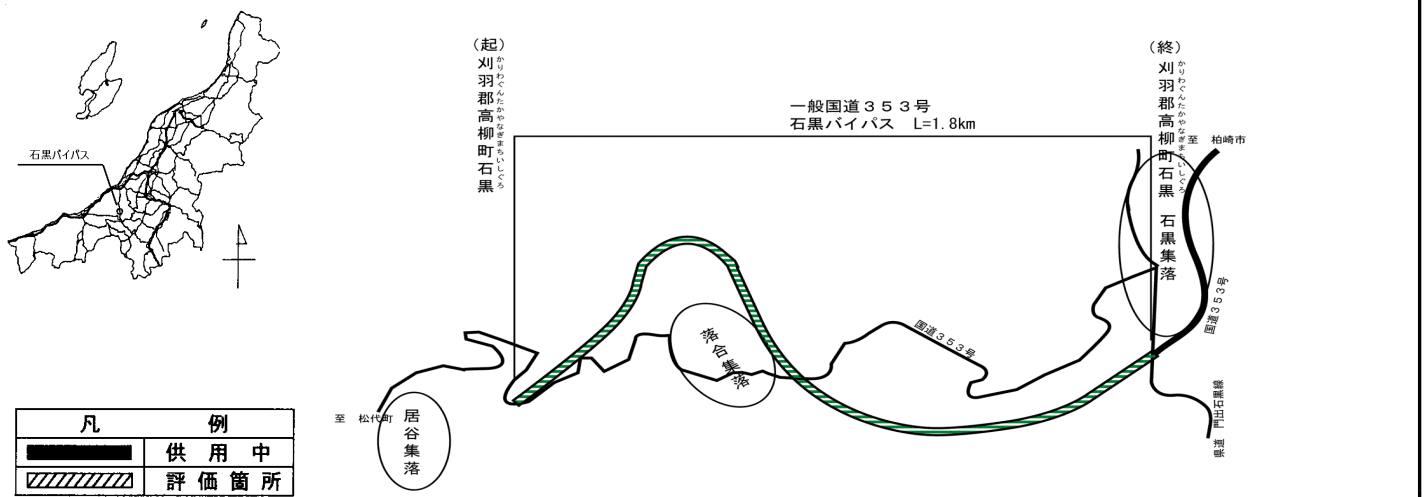
- ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する）
- ・安全で安心できる暮らしの確保（二次医療施設刈羽郡総合病院へのアクセス向上が見込まれる）
- ・災害への備え（災害により孤立化する集落を解消する）
- ・その他（「新潟県原子力発電施設等立地地域の振興に関する計画」に位置付けがある）

他5項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

柏崎市、高柳町、松代町より強い要望がある。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。